

男女共同参画に関する市民アンケート調査 ご協力をお願い

日頃より市政につきまして、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。
所沢市では、令和元年度に第4次所沢市男女共同参画計画を策定し、男女共同参画に関するさまざまな取り組みを進めています。

この調査は、計画の進捗状況を確認するとともに、所沢市の現状の把握と、市民の皆様のご意見を伺うため実施するものです。

ご多忙のところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和3年3月11日

所沢市長 藤本 正人

■この調査について

- 調査対象は、市内にお住まいの18歳以上の方から無作為に2,000人を選ばせていただいております。
- お答えいただいた内容はすべて統計的な数値として処理します。**調査で得た情報から個人を特定することはできません**ので、お考えのままをご記入ください。

■ご記入にあたって

- 質問には、封筒のあて名のご本人がお答えください。
- **回答は数字に「○」をしてください。**（一部ご記入いただくものもあります。）

■ご回答の方法について

- ご記入いただきました回答は、同封の返信用封筒に入れ、**令和3年3月23日（火）**までに郵便ポストに投函してください。
- 切手を貼る必要はありません。
- 記名は不要です。

本調査についてのお問い合わせは、下記担当窓口までお願いします。

所沢市 経営企画部 企画総務課 男女共同参画室
〒359-8501 所沢市並木一丁目1番地の1
電話 04-2998-9150 FAX 04-2994-0706
Eメール a9150@city.tokorozawa.lg.jp

所沢市 男女共同参画推進センターふらっと
〒359-1122 所沢市寿町27番7号 コンセールタワー所沢2階
電話 04-2921-2220 FAX 04-2921-2270
Eメール b29212220@city.tokorozawa.lg.jp



ご協力をお願いいたします

1. 男女共同参画社会についておうかがいします

Q 1 あなたは、(1)から(8)の分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。
(質問ごとに、1～6のいずれか一つに○)

	男性の方が 非常に優遇されている	どちらかといえば 男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば 女性の方が優遇されている	女性の方が 非常に優遇されている	わからない
(1) 家庭生活	1	2	3	4	5	6
(2) 職場	1	2	3	4	5	6
(3) 学校教育の場	1	2	3	4	5	6
(4) 政治の場	1	2	3	4	5	6
(5) 法律や制度の上	1	2	3	4	5	6
(6) 社会通念・慣習・しきたりなど	1	2	3	4	5	6
(7) 自治会やPTAなどの地域活動の場	1	2	3	4	5	6
(8) 社会全体	1	2	3	4	5	6

Q 2 次の(1)から(8)の言葉をご存じですか。(質問ごとに、1～3のいずれか一つに○)

	意味を 知っている	言葉だけは知って いるが、意味は よく分からない	知らない
(1) 男女共同参画社会	1	2	3
(2) ジェンダー	1	2	3
(3) 女性活躍推進法	1	2	3
(4) ワーク・ライフ・バランス	1	2	3
(5) ドメスティック・バイオレンス (DV)	1	2	3
(6) LGBT	1	2	3
(7) 所沢市男女共同参画推進センターふらっと	1	2	3
(8) 選択的夫婦別姓制度	1	2	3

Q 3 「男女共同参画社会」をつくるために、行政はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。（〇はいくつでも）

- | | |
|-------------------------------------|-----------------------------------|
| 1 夫婦で参加できる家事・育児・介護に関する講座を行う | 11 市が率先して模範となり男女共同参画の職場づくりを働きかける |
| 2 人権教育を推進し、男女共同参画に関するテーマを取り入れた講座を行う | 12 男性も女性も地域で活動し、地域のつながりをつくれるような支援 |
| 3 学校で男女共同参画教育を行う | 13 介護家庭に対する支援を充実する |
| 4 市の施策に関する審議等を行う場に女性を登用する | 14 男女共同参画を目的とした市民活動の支援を充実する |
| 5 市職員管理職に女性を登用する | 15 わからない |
| 6 企業に意思決定の場に女性が参画できるよう働きかける | 16 特にない |
| 7 女性を対象とした各種相談やDV被害の救済体制を充実する | 17 その他 |
| 8 ひとり親家庭の生活安定のための支援を充実する | 具体的に書いてください |
| 9 女性がいきいきと職業生活を送るための資格・技能取得支援を充実する | |
| 10 保育施設を充実する | |

Q 4 上記の1～17のうち、あなたが最も力をいれてほしいと思っているものは、どれですか。選択肢の数字でお答えください。

()

2. 家庭生活等に関する考え方についておうかがいします

Q 5 「男性は外で働き、女性は家庭を守るべきである」という考え方について、あなたはどう思いますか。（〇は一つ）

- | | | | | |
|-----------|--------------|--------------|-----------|---------|
| 1 その考えに賛成 | 2 どちらかといえば賛成 | 3 どちらかといえば反対 | 4 その考えに反対 | 5 わからない |
|-----------|--------------|--------------|-----------|---------|

Q 6 この質問は、**あなたを含めてご家庭に男性がいる場合のみ**お答えください。

あなたの家庭で男性が家事（炊事・洗濯・育児・介護等）に充てている時間は1日あたりに平均すると、どの程度ですか。

家庭に男性が複数いる場合は、合計の延べ時間で回答してください。（○は一つ）

- | | | | |
|---|-----------|---|-----------|
| 1 | なし | 6 | 2時間～4時間未満 |
| 2 | 15分未満 | 7 | 4時間～6時間未満 |
| 3 | 15分～30分未満 | 8 | 6時間～8時間未満 |
| 4 | 30分～1時間未満 | 9 | 8時間以上 |
| 5 | 1時間～2時間未満 | | |

Q 7 生活の中での、「仕事」、「家庭生活」、地域活動・学習・趣味・付き合いなどの「地域・個人の生活」の優先度についておうかがいします。

（1）あなたの**現状**に最も近いものをお答えください。（○は一つ）

- 1 「仕事」を優先している
- 2 「家庭生活」を優先している
- 3 「地域・個人の生活」を優先している
- 4 「仕事」と「家庭生活」をともに優先している
- 5 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先している
- 6 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している
- 7 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」を全て大事にしている
- 8 わからない

（2）あなたの**希望**に最も近いものをお答えください。（○は一つ）

- 1 「仕事」を優先する
- 2 「家庭生活」を優先する
- 3 「地域・個人の生活」を優先する
- 4 「仕事」と「家庭生活」をともに優先する
- 5 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先する
- 6 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先する
- 7 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」を全て大事にする
- 8 わからない

3. 男女の働き方についておうかがいします

Q8 あなたは、現在、働いていますか。(○は一つ)

- 1 働いている
- 2 働いていないし、仕事を探してもいない
- 3 働いていないが、仕事を探している
- 4 産休・育休・病休などで一時的に仕事を休んでいる

Q9 Q8 で「1 働いている」と答えた方におうかがいします。

(1) 週に何時間くらい働いていますか

週 時間くらい

(2) あなたの働き方で一番近いものはどれですか。

- | | |
|----------------------------|------------|
| 1 正社員・正職員 | 5 内職 |
| 2 パート・アルバイト | 6 家業・家族従業員 |
| 3 派遣社員・契約社員 | 7 その他 |
| 4 自営・独立事業者・
フリーランス・SOHO | |

(3) あなたの職場環境についておうかがいします。

(質問ごとに、1～5 のいずれか一つに○)

	取得しやすい	どちらかといえ ば取得しやすい	どちらかといえ ば取得しにくい	取得しにくい	わからない
(1) 男性が育児休暇を取得しやすい職場環境ですか	1	2	3	4	5
(2) 女性が育児休暇を取得しやすい職場環境ですか	1	2	3	4	5
(3) 男性が介護休暇を取得しやすい職場環境ですか	1	2	3	4	5
(4) 女性が介護休暇を取得しやすい職場環境ですか	1	2	3	4	5
(5) 有給休暇を取得しやすい職場環境ですか	1	2	3	4	5

Q10 男性または女性が育児休暇・介護休暇をとることについてどのように思いますか。
 (質問ごとに 1~5のいずれか一つに○)

	賛成	どちらかと いえは賛成	どちらかと いえは反対	反対	わからない
(1) 男性が育児休暇をとることについて	1	2	3	4	5
(2) 女性が育児休暇をとることについて	1	2	3	4	5
(3) 男性が介護休暇をとることについて	1	2	3	4	5
(4) 女性が介護休暇をとることについて	1	2	3	4	5

4. ドメスティック・バイオレンス (DV)※ についておうかがいします

※ DV…配偶者や恋人など親密な関係にある、又はあった者から振るわれる暴力行為のことで、暴力には身体的暴力のほか、精神的・性的・経済的暴力などがあります。

Q11 あなたはこれまでに、配偶者・パートナー・恋人から以下のような行為をされたことがありますか。(質問ごとに、1~5のいずれか一つに○)

	ひんばんにある 今現在、	少しある 今現在、	何度もあった 過去に	数回程度あった 過去に	まったくない
(1) ながる、ける、突き飛ばされるなどの身体に対する行為	1	2	3	4	5
(2) 刃物などを突きつける、ながるふり、物を投げつける、どなる、ドアや壁をけるなどの脅し	1	2	3	4	5
(3) あなたやあなたの家族・親族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じる脅迫	1	2	3	4	5
(4) 人格を否定するような暴言や交友関係(電話・メール)を監視する、長期間無視するなどの精神的ないやがらせ	1	2	3	4	5
(5) いやがっているのに、性的な行為を強要された(映像などを見せられた)	1	2	3	4	5
(6) 必要な生活費を渡さない、仕事を無理にやめさせるなど経済的に弱い立場に立たせる	1	2	3	4	5

Q 1 2 DVに対する対策や支援として、特にどのようなことを充実すべきだと思いますか。(Oはいくつでも)

- 1 「DVは犯罪である」ことの啓発や、相談窓口の周知
- 2 カウンセリングなどの相談体制の充実
- 3 いざというときに逃げられる場所(保護施設)の充実
- 4 避難後の住居や仕事などの生活支援の充実
- 5 離婚調停などの法的な支援の充実
- 6 加害者に対する厳正な対処
- 7 学校でデートDV防止講座を実施する
- 8 地域での見守り体制の整備
- 9 その他 { 具体的に書いてください }

5. 性的マイノリティ※ についておうかがいします

※ 性的マイノリティ (LGBT等)

「身体の性」と「心の性」が一致しない人や、恋愛感情などの性的な意識が同性や両性に向かう人(同性愛、両性愛)、恋愛や性的な感情をだれに対しても抱かない人などのことをいいます。

LGBTとは、L: レズビアン(女性の同性愛者) G: ゲイ(男性の同性愛者) B: バイセクシュアル(両性愛者) T: トランスジェンダー(心と体の性に不一致を感じる人)のことです。

Q 1 3 あなたは、性的少数者に当てはまると感じますか。(Oは1つ)

- 1 はい 2 いいえ 3 わからない

Q 1 4 現在、性的マイノリティの方にとって、偏見や差別などにより、生活しづらい社会だと思いませんか。(Oは一つ)

- 1 そう思う
- 2 どちらかと言えばそう思う
- 3 どちらかと言えばそう思わない
- 4 そう思わない

Q 15 あなたは「パートナーシップ制度※」について、所沢市でも導入すべきだと思いますか。よろしければ、その理由も教えてください。(〇は一つ)

※ パートナーシップ制度

法律上婚姻できない同性カップルを自治体が条例や要綱でカップルとして公認する制度。認定の要件や内容、受けられるサービスは自治体により異なります。

- 1 導入すべきである (その理由)
- 2 導入すべきではない (その理由)
- 3 どちらともいえない (その理由)

6. 新型コロナウイルス感染症の影響についておうかがいします

Q 16 新型コロナはあなたの収入に影響を与えましたか。(〇は一つ)

- 1 収入が2割以上増えた
- 2 変わらない
- 3 収入が2割以上減った
- 4 収入がなくなった
- 5 その他

Q 17 新型コロナの影響で、あなたご自身の労働時間は変わりましたか。(〇は一つ)

- 1 2割以上増えた
- 2 あまり変わらない
- 3 2割以上減った

Q18 コロナ禍の前と比べ、あなたの生活や行動、心身に変化はありますか。
(〇はいくつでも)

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1 家事の負担が増えた | 8 同居人との関係が良かった |
| 2 家事の負担が減った | 9 人との交流機会が減った |
| 3 仕事や勉強に集中できなくなっている | 10 生活に対する不安を抱えている |
| 4 仕事や勉強に集中できている | 11 感染への不安を抱えている |
| 5 子どもを叱ることが増えた | 12 特に変化はない |
| 6 子どもを叱ることが減った | 13 (その他) |
| 7 同居人との関係が悪くなった | |

Q19 コロナ禍において、女性に対する支援としてどのような施策が必要と思いますか。
(〇はいくつでも)

- 1 仕事や生活等の不安がある際の相談先に関する情報提供
 - 2 電話相談の充実
 - 3 面接相談の充実
 - 4 メールやSNSを活用した相談の充実
 - 5 その他
- ()

7. 最後に、あなたご自身のことについておうかがいします

Q20 あなたの性別を教えてください。

- 1 男性 2 女性 3 その他

Q21 あなたの年齢層を教えてください。

- | | |
|-----------|-----------|
| 1 18歳～19歳 | 5 50歳～59歳 |
| 2 20歳～29歳 | 6 60歳～69歳 |
| 3 30歳～39歳 | 7 70歳以上 |
| 4 40歳～49歳 | |

Q 2 2 あなたは結婚されていますか（事実婚を含みます）。（○は一つ）

- 1 結婚している
- 2 結婚していたが、離別・死別した
- 3 結婚したことはない

Q 2 3 現在、あなたと一緒に住まいの方を教えてください。

- 1 ひとり暮らし
- 2 本人と親
- 3 本人と配偶者（パートナー）
- 4 本人と配偶者（パートナー）と子ども（末子が小学生以下）
- 5 本人と配偶者（パートナー）と子ども（末子が中学生以上）
- 6 本人（父親）と、子ども（末子が小学生以下）
- 7 本人（父親）と子ども（末子が中学生以上）
- 8 本人（母親）と子ども（末子が小学生以下）
- 9 本人（母親）と子ども（末子が中学生以上）
- 10 三世帯家族(親と子と孫)
- 11

{	その他	}
---	-----	---

Q 2 4 女性の方におうかがいします。

あなたは困ったり悩んだりしたときに、「所沢市男女共同参画推進センター“ふらっと”」や「埼玉県男女共同参画推進センター（With Youさいたま）」などの公的な相談窓口にご相談しようと思いませんか。（○は一つ）

- 1 相談しようと思う
- 2 相談しようとは思わない
- 3 公的な相談窓口以外に相談する
- 4 わからない

Q 2 5 自由意見欄

これで調査は終了です。

お手数ですが、ご記入いただきましたこの回答票は、同封の返信用封筒に入れ、令和3年 3月23日（火）までに郵便ポストに投函をお願いいたします。

この結果は、令和3年度中に所沢市のHP等で公表するとともに今後の施策に活かしてまいります。

ご協力いただき、誠にありがとうございました。

